

第 17 卷 PDF 読本



紀勢本線（亀山～和歌山）

参宮線（多気～鳥羽）

阪和線（和歌山～天王寺）

2024年6月3日 歩く鉄道作家 榎原 勉

<目次>

はじめに

- 第1章 紀勢本線（亀山～松阪：営業キロ 34.6 km）・・・5
- 第2章 紀勢本線（松阪～多気：営業キロ 7.9km）・・・16
- 紀勢本線（九鬼～新宮：営業キロ 45.8）
- 参宮線（多気～鳥羽：営業キロ 32.0 km）
- 第3章 紀勢本線（多気～九鬼：営業キロ 91.9km）・・・47
- 第4章 紀勢本線（新宮～白浜：営業キロ 95.2 km）・・・65
- 第5章 紀勢本線（白浜～和歌山：営業キロ 105.5km）・・・97
- 第6章 阪和線（和歌山～天王寺：営業キロ 61.3 km）・・・121

※紀勢本線（亀山～和歌山：営業キロ 380.9 km）

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 12 弾目として、関西本線や大阪環状線などに接続する、三重県・和歌山県・大阪府を走る、紀勢本線・参宮線・阪和線の旅（営業キロ 474.2 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 26 作目の節目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、第1巻（第5編）、第2巻（15編）として国立国会図書館に納本済みのため、本図書館や榎原勉文庫にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第5編（日本横断歩き鉄の旅）

紀勢本線 阪和線



2020年12月5日 榎原 勉

第15編（日本横断歩き鉄の旅）

湖西線・参宮線 武豊線・御殿場線



伊勢神宮
鳥羽港



2021年2月15日 榎原 勉

第1章 紀勢本線（亀山～松阪：営業キロ 34.6 km）

第1節 旅プラン

第345～347回目のウォーキングは、青春18きっぷを活用し、名古屋から松坂までのJR線を歩くことにする。平成25年3月9日（土）～11日（月）のコースは次の通り。

<一日目：3月9日（土）>

紀勢本線（亀山＝津：15.9 km）踏破、東横イン松阪泊

朝3時に起床し、次のダイヤで目的地の亀山駅に向かう。



南林間 5:01 → 藤沢 5:49 → 小田原 6:22

熱海 6:49 → 浜松 9:18

浜松 9:22 → 豊橋 9:57

豊橋 10:03 → 名古屋 10:58

名古屋 11:05 → 亀山 12:07

※雀友の杉山氏から8時40分TELあり。

<二日目：3月10日（日）>

紀勢本線（松阪＝津：19.1 km）踏破

津 14:21 → 亀山 14:40

関西本線（亀山＝河曲（かわの）：13 km）踏破、東横イン名古屋泊

<三日目：3月11日（月）>

関西本線（桑名＝蟹江：14.5 km）踏破

次のダイヤで帰宅。

名古屋 14：47 → 豊橋 15：37 （新快速：6両編成）

豊橋 15：41 → 浜松 16：15 （4両編成）

浜松 16：21 → 熱海 19：02 （5両編成）

熱海 19：10 → 藤沢 20：13

藤沢 20：24 → 南林間 20：53

第2節 1日目：3月9日（土）：亀山～津



名古屋駅

亀山(12:07)～下庄(14:38)～一身田'16:50)～津(17:50)

2013年3月9日（土）、上記の通り、亀山駅（12時7分）まで移動する。亀山からは全く沿線の状況を知らないまま歩くこととなる。亀山駅前のみつわ食堂で「亀山みそ焼うどん」を食べる。店内には客は誰もいなかった。三人の老婆が世間話をしていた中に入り込む恰好となった。本日最初の客であったかも知れない。待ち時間を利用して、三人の老婆に話しかける。近くにある旅館は閉鎖したとのことであった。私が「下庄駅経由で津方面を歩く」旨を話すと驚いた様子であった。「道がないから大変」との回答であった。



亀山





みつわ食堂

この店で 20 分位、休息する。従って、下庄（しものしょう）駅に向かったの歩きは 12 時 30 分頃となる。第一歩が大切なため、駅前の看板やレイルウェイを見て、歩く道筋を定める。誤って桑名方面や草津方面に進む恐れがあるためである。運よく駅員さんがいたため、津方面の道筋を教えて頂く。即ち、関西本線に沿って暫く歩き、津街道第一踏切（12 時 41 分）を横切る道筋である。このコースが分かりやすいし、近道とのことであった。関西本線を横切る津街道第一踏切の先に、紀勢本線を横切る踏切があった。



津街道第一踏切

紀勢本線は単線の非電化の線路であった。踏切近郊で、リュックを背負い、足を庇いながら歩いている老婆を見かける。12 時 45 分、本日から使用する万歩計で 150 歩ある亀山橋を渡る。13 時 7 分、亀山市立亀山南小学校前を通過。県道 2 号線を暫く歩く。途中、コンビニの店長に下庄の道筋をお尋ねする。「池の先の信号を曲がりなさい」と教えて頂く。



田茂池 中ノ川



バス停三寺 前方 JR 線

13時25分、「田茂池」があり、ここから曲がるかその先の信号先で曲がるか迷う。自転車に乗った若い女性にお尋ねするが、「よくわからない」とのことであった。それで、信号待ちのドライバーにお尋ねし、信号先を道なりに行った先に「下庄駅」があるとのことだった。歩いた先で池からの道も合流していた。13時38分、中ノ川があった。13時49分、亀山市営のバス停（三寺：みつでら）があった。13時58分、中庄バス停を通過。14時4分、JA 鈴鹿があった。14時6分、亀山市立昼生小学校前を通過。14時9分、久しく見なかった JR 線を頭上に見つける。その下を歩く。14時20分、丘の裾の走っている1両編成の車両を見つける。電柱による鉄道案内人がいないため、JR 線の状況が読めない。14時23分、69歩ある中ノ橋（中ノ川）を渡る。やっとのことで、下庄駅には14時38分到着。



紀勢本線の電車



下庄駅

電車が到着したばかりで、5から6名の高校生に「駅前の道は通り抜けられるか否か」をお尋ねする。「OK」の回答をもらい安堵する。14時47分、第一下庄踏切を横切る。線路の右に出る。14時54分、津市の看板を見つける。14時56分、幹線道路に出る。少し行った先で左（水道施設あり）に進むべきか右に進むべきか迷う。通行人の方に「左の方が近道ではないでしょうか」の助言を信じて左を選定する。地図とは違う道の選択となる。



第一下庄踏切



亀山市下庄町

15時25分、歩いて道路下に鉄道があった。自分が想定していないコースとなり動揺する。一瞬、引き返しも考えたが、親切にも教えて頂いた方を信じて、真っ直ぐ進むことにする。途中、水道管理施設があった。15時40分、交差点に差し掛かり、右折する。高台から一身田（いっしんでん）近郊が一望できる。ここで、親切な女性に一身田駅の進路をお尋ねする。「この坂を下っても行けますが、元の交差点に戻り、次の信号がある交差点を右折した方がわかりやすいですよ」の助言を頂く。加えて、「車でお送りしましょうか」の温かいメッセージも頂く。



JR 線横切る



津への道路標識



新洗井橋



大里大橋

私の趣旨をお話しお断りするが。一本早く曲がろうとするが、散歩中の人に「この道を行くと迷路に入ります」と言われる。16時1分、新洗井橋（前田川）があった。再度引き返し、信号がある幹線道路まで出ることにする。16時23分、国道23号線に出る。16時23分、赤い大里大橋（554歩）を渡る。川に沿ってJR線が走っていた。先程の通行人の説明がやっと理解できた。16時37分、大里窪田町出口交差点に到達。16時42分、再度橋

を渡る。16時44分、学校法人高田学苑「高田中・高等学校」前を通過。16時50分、本日2駅目の一身田駅に到着する。



一身田駅

16時57分、毛無川（桜橋）を通過し。17時1分、試験場踏切を横切る。その先に三重県障害者総合福祉センターと相談支援センターがあった。幹線道路（津関線）に出て、津駅を目指す。途中、丘越が2ヶ所あった。17時50分、西口の近鉄津駅に到着。



試験場踏切



津駅西口



地下道より津駅東口に



津駅

地下道を通り、東口にある JR 津駅には 17 時 58 分到着。18 時 29 分発の快速（みえ）で松阪駅に向かうこととする。しかし、12 分のダイヤの遅れが生じる。松阪駅（西口）には 19 時頃到着。松阪東横イン（808 号室）には 19 時 15 分到着。この東横インで新しい会員カード用が発行される。東横イン前の「すずやん」で夕食を摂る。小豆島出身の高橋さん、お店の藤村実穂さん、吉田さんと食事をしながら会話あり。減量・趣味等で話が弾む。21 時頃この店を後にする。本日の営業キロは、15.9 km、万歩計は 42,145 歩であった。ホテルに帰るやばたんきゅう。充実した一日であった。



東横イン

第3節 2日目：3月10日（日）：松阪～津

松阪(7:38)～六軒(9:23)～高茶屋(11:26)～阿漕（あこぎ、12:46）～津(13:50)

二日目の3月10日（日）は、松阪から津、そして電車で移動し、亀山から歩けるところまでとする。この日は親父の命日でもあった。早いものであれから7年経過する。3時頃目が覚め、ロビーでipodを充電する。再度、部屋に戻り仮眠する。朝食を済ませ、ホテルを7時35分チェックアウト。7時38分、松阪駅をデジカメに収める。



松阪駅



宣長まつり

駅前には古事記伝の本居宣長（もとおりのりなが：1730～1801）の駅鈴（えきれい）があった。7時47分、神道川踏切を横切る。7時58分、国道23号線の鎌田町交差点を通過。その先に工事中の松阪橋（阪内川：110歩）があった。ここでもヤマダ電機があった。隣接して東海ゴム工場松阪製作所があった。8時14分、大塚町交差点の近くに丸亀産業社員住宅を見かける。伊勢名物「赤福」の看板をめじろしに見かける。8時23分、国道42号線とあった。イオンの看板を見かける。8時30分、三重信用金庫塚本支店前を通過。8時43分、津13km、四日市46km道路標識前を通過。9時3分、三渡橋（三渡川：185歩）を渡る。JR線が1km先に見える。世間話をしている主婦にお尋ねし、六軒駅を教えて頂く。ピアノ家具センター（9時18分）を曲がった先にあるとのことであった。本日最初の六軒駅には9時23分到着。



近鉄線と JR 線（神道川踏切近郊）



赤福

三渡橋



六軒駅

上下の電車が離合していた。暫く田圃道（9時36分）を歩く。9時46分、月木の追分（三雲村指定史跡）前を通過。10時6分、肥前町南交差点辺りで風を感じる。10分位して強風となる。帽子を脱ぎ歩く。10時23分、手力男神社前を通過。10時28分、土手にぶつかり土手沿いを歩く。10時32分、623歩ある雲出橋（くもず：雲出川）を渡る。10時43分、津市へ入る。近くに伊勢街道（歴史街道散策マップ）があった。数人の人にお尋ねし、やっと高茶屋駅（11時26分）に到着する。近くに津茶屋郵便局（11時30分）があった。



月木の追分

手力男神社前



高茶屋駅

11時32分、醒川（さめかわ）踏切を越える。11時43分、天気にも関わらず、雨粒を感じる。11時56分、49歩ある相川を渡る。12時1分、津競艇場の看板を見つける。雨が上がる。12時8分、丸亀製麺の釜揚げうどん前を通過。12時35分、橋南中学校前を通過。近くのグラウンドではテニスの試合が行われていた。12時46分、阿漕（あこぎ）駅に到着。



、醒川踏切 丸亀製麺



阿漕駅

この駅も想定もしない幹線道路を2本横切ることとなる。北村カメラ先にあった。近くに金光教阿漕教会（12時53分）があり、「あたりまえ」という言葉に対して解説していた。13時5分、131歩ある昭和橋（岩田川）を渡る。曇り空となる。13時16分、時計塔広場前を通過。公園の奥からフォークが聞こえてくる。13時30分、国道に出る。万町という地名であった。150歩ある塔世橋を渡る。13時38分、県庁前地下道を通り抜ける。第一生命や住友生命のビルが見えて来る。近くにホテルルートインもあった。津駅東口には13時50分到着。今にも雨が降りそうな空模様となる。駅前の吉野家で遅い昼食を摂る。



昭和橋



時計塔広場



塔世橋



津駅東口

以下、関西本線（亀山～河曲）のため記載割愛。